



2020年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月13日

上場会社名 株式会社AVANTIA

上場取引所 東 名

コード番号 8904 URL <https://avantia-g.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 沢田 康成

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 宮崎 卓也

TEL 052-859-0034

四半期報告書提出予定日 2020年7月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第3四半期の連結業績(2019年9月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	24,518	2.6	74	—	111	70.6	38	87.4
2019年8月期第3四半期	23,894	6.4	219	74.9	379	63.7	301	56.0

(注) 包括利益 2020年8月期第3四半期 49百万円 (80.6%) 2019年8月期第3四半期 254百万円 (62.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	2.61	—
2019年8月期第3四半期	20.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第3四半期	47,127	24,120	51.2
2019年8月期	41,746	24,694	59.2

(参考) 自己資本 2020年8月期第3四半期 24,120百万円 2019年8月期 24,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2020年8月期	—	19.00	—		
2020年8月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年 8月期の連結業績予想(2019年 9月 1日～2020年 8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,789	8.6	1,675	12.2	1,884	9.2	1,263	1.0	86.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 無

修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年8月期3Q	14,884,300 株	2019年8月期	14,884,300 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年8月期3Q	421,555 株	2019年8月期	303,555 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年8月期3Q	14,576,809 株	2019年8月期3Q	14,580,745 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。